



にこにこだより



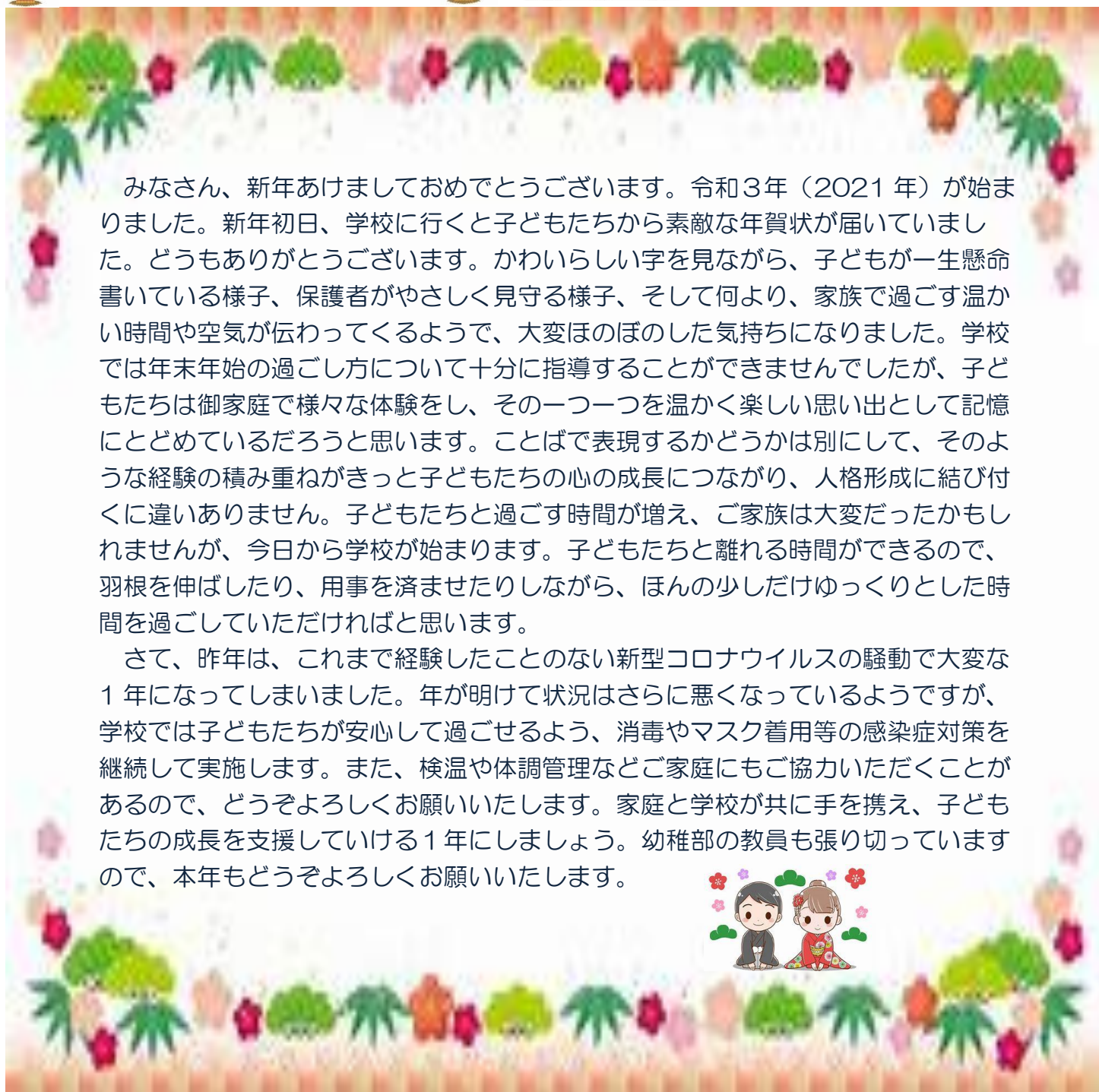
令和3年（2021年）1月7日（木）

横須賀市立ろう学校 幼稚部

第18号



新しい年が始まりました



みなさん、新年あけましておめでとうございます。令和3年（2021年）が始まりました。新年初日、学校に行くと子どもたちから素敵な年賀状が届いていました。どうもありがとうございます。かわいらしい字を見ながら、子どもが一生懸命書いている様子、保護者がやさしく見守る様子、そして何より、家族で過ごす温かい時間や空気が伝わってくるようで、大変ほのぼのした気持ちになりました。学校では年末年始の過ごし方について十分に指導することができませんでしたが、子どもたちは御家庭で様々な体験をし、その一つ一つを温かく楽しい思い出として記憶にとどめているだろうと思います。ことばで表現するかどうかは別にして、そのような経験の積み重ねがきっと子どもたちの心の成長につながり、人格形成に結び付くに違いありません。子どもたちと過ごす時間が増え、ご家族は大変だったかもしれませんが、今日から学校が始まります。子どもたちと離れる時間ができるので、羽根を伸ばしたり、用事を済ませたりしながら、ほんの少しだけゆっくりとした時間を過ごしていただければと思います。

さて、去年は、これまで経験したことのない新型コロナウイルスの騒動で大変な1年になってしまいました。年が明けて状況はさらに悪くなっているようですが、学校では子どもたちが安心して過ごせるよう、消毒やマスク着用等の感染症対策を継続して実施します。また、検温や体調管理などご家庭にもご協力いただくことがあるので、どうぞよろしくお願いいたします。家庭と学校が共に手を携え、子どもたちの成長を支援していける1年にしましょう。幼稚部の教員も張り切っていますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。



★1月の校外活動について★



1月22日（金）に予定していた校外活動を中止させていただきます。12月までは実施の方向で調整していたのですが、年末から新型コロナウイルスの感染状況が変わり、今週末には緊急事態宣言が発出されるようです。公共交通機関を使わず現地集合現地解散とし、園内でもマスクを着用しながら活動する予定だったのですが、それでも感染リスクをゼロにすることはできません。子どもたちが楽しみにしている貴重な校外活動ですが、横須賀でも感染経路不明の感染者が増加している中、慎重な判断をせざるを得ませんでした。子どもたちのがっかりする様子が目に浮かびますが、安全を最優先した判断にご理解を頂ければ幸いです。

★芸術鑑賞会★

昨年、12月4日（金）に芸術鑑賞会が行われました。今回は文化芸術による子供の育成事業「和泉流狂言 三宅狂言会」に来ていただきました。幼稚部では最初「狂言」と聞き、「きょうげん？」「キョウゲン？」・・・ん？手話でどうやって表すのかな？と教員も戸惑ってしまいました。内容は、兄弟の弟が物の怪（フクロウ）に憑りつかれてしまい、フクロウのようになってしまうお話です。幼稚部ではその話を全部話しても「ぼかーん・・・」としてしまいそうだったので、祈りで病気を治す山伏（やまぶし）とフクロウの絵を使って、山伏ごっこをして遊びました。山伏役が「やあー！」と祈るとフクロウ役がフクロウに変身してしまうという遊びです。それが意外とおもしろかったようで、今度は、山伏役の「やあー」の声でフクロウではなくパンダやニワトリなど様々な動物に変身していました。

山伏ごっこで遊んだ後はいよいよ狂言を見に行きます。体育館には本物の舞台が出来上がっていて、子どもたちは興味深げに恐る恐る入っていきました。舞台の最初は狂言の説明だったので、子どもたちには難しかったようですが、さっきまで遊んでいた山伏が出てくると「やまぶしー、やまぶしー」とまるで山伏の熱烈なファンのような声をかけていました。舞台が終わると子どもたちは「ほーほーほー」とフクロウになりながら教室へ戻りました。幼児に狂言は難しいと思っていましたが、何でも遊びに変えて楽しんでいる子どもたちに関心してしまいました。

